

轍わだち

2011, 3, 12 NO. 1

3月11日、午後2時46分東日本一帯を襲った大地震から1ヶ月が過ぎた昨日、第1回目の実行委員会が開かれました。実行委員長・副委員長・企画・渉外・庶務などの担当がすべて立候補で決まりいよいよ始動します。全校生のみなさん、先生・職員のみなさんご協力よろしくお願いいたします。

実行委員長は、高校3年2組西紋あかり

東日本被災地応援実行委員長の西紋あかりです。

この度、東日本大震災で被災して苦しんでおられる方々へ、応援の気持ちと支援を届けるため、東日本被災地応援実行委員会が発足することとなりました。

多くの方が命を落とされ、多くの方が今も苦しみの中にあると思うと、心苦しい限りです。

私が、実行委員に入ったのは「被災して苦しんでおられる方々のために何か自分にできることがあれば」とずっと思っていたからです。テレビで変わり果てた町を見るたび涙があふれ、何もできない自分が無力に思え、何度も悔しい思いをしました。

きっと、私のように何かしたいけれど何もできず、悔しい思いを心の内に秘めながら、テレビを食い入るように見つめていた人は多いと思います。

しかし、どんなに被災地が良くなるようにと願う気持ちが強くても「気持ち」だけでは何も変えられません。今が、その「気持ち」を「行動」にうつす時です。現在、実行委員の数は非常に少なく、まだまだ人手不足の状態です。自分たちに何かできるか考え、最大限の支援をしたいと思っている人、是非委員会に入ってください。1人でも多くの被災者の方々が、また笑顔になれるように、一緒に考えていきたいと思います。

たよりの名前について

わだちとは「車が通ったあとに残る車輪の跡」です。津浪ですべてのものが破壊された被災地の情景を目の当たりにしながら、そこに、人々は新たに、「出会いと経験」を通して再び「人生の足跡」を作るのだと思いました。このたよりは、被災された人にかぎらず、この地震でこころ痛めているすべての人の取り組みを「人生の足跡」として記していこうとの願いを込めて付けました。

よみがえれ東日本！

みんなで大きな力に！ 実行委員大募集

「私が今できる小さな手助け」 H3-1 東日本大地震実行委員会 副委員長

私が東日本大地震実行委員会に入ろうと思った動機は、「みんなのために今のわたしができる手助けをしたい」というものでした。地震が起きてから約 1 ヶ月が過ぎましたが、私は春休み中も募金に協力することくらいしかできず、ずっと「自分は今のみんなのために何ができるのだろう。世界中の人々が日本のために動いているのに、私は何もできないのか、私も自分からみんなの手助けになることをしたい!」と考えこんでいました。そんなとき、先生の呼びかけで東日本大地震についてのイベントをすることを知り、「私に何ができるのかはまだ自分でもよく分からないけれど、これをきっかけにみんなのために動いてみよう。」と思い実行委員会に入りました。「何か手助けをしたい!!」という気持ちは、委員会を開き、みんなで話しあう度にどんどん強くなっているのですが、その気持ちを行動にうつすのはなかなか難しいことです。今この世界で顔も名前も知らない人たちが、大人から子どもまで、日本の人々のために涙を流し、日本の人々のために歌を届けてくれています。今現在、現地の避難所に TV などがほとんどない状態で、その世界中の人々の優しい声援がどこまで届いているのか、関西に住む私たちにはよく分かりません。ですが、私は世界中の人々が東日本大地震の被災者の方たちのために動いていることを TV などのメディアを通してではなく、自分たちで伝えたいと思うのです。家族や友人を亡くし、孤独にさらされている人々に「あなたは独りじゃない!」という声を伝えたいのです。そのためにできることがあるなら、それが例えばどんなにちっぽけなものでも、私は最後までやり遂げたいと思います。みなさんの中にも被災者の方たちのために何ができたらいいなと考えている人がいると思います。一緒に被災者の方たちのために動いてみませんか? 少しのことでかまいません。委員会の一部となってくれる人が 1 人でも 2 人でも増えてくれると、とても心強いです。できないことを言い訳にすることより、なにかやりたいと思うことの方が私は大切だと思います。私たちみんなができることを協力して取り組んでいきましょう! よみがえれ東日本!!

東日本被災地応援実行委員会の副委員長になった

東日本大震災が起こって何か出来ないかと思っていたときに、この委員会が出来たので是非活動したいという思いから参加しました。

この大地震の速報を受けて、心を痛めている方々はたくさんいらっしゃると思います。

けれど、私たち高校生として何をすべきなのか、どう行動をおこすべきなのか、迷っている方も多いと思います。実際に私もその1人でした。しかし、個人では小さな力も学生みんなで力を合わせれば大きな力になります。

被災地の方々への皆さんの思いを届けられるようにしていきたいと思うので、少しでも関心を持っていただける方は実行委員まで声を掛けてください。活動の参加に是非ご協力ください。